

まちの Machi no Wadai 話題



陣屋を構築し、農民約500人の移住・開墾を成し遂げた荘内藩でしたが、戊辰戦争の勃発により全員の引き揚げが命じられます。今回の語りでは、そんな撤退を余儀なくされた藩士たちの姿がリアルに描かれました。

陣屋研、語り部奉行「定ノ介」見参

さだのすけ

荘内藩
ハママシケ
陣屋プロジェクト

陣屋研究会
メンバー
語り部奉行こと
さだの
渋谷定さん

×
カフェ・クローバー



陣屋プレイバック!
「陣屋物語」は現在
24作品を書き上
げました。今後も
お楽しみに!



この日のデザートは手作り
スコーン。コーヒーや紅茶、
りんごジュースを添えて。



実話を元にしたお話に聞
き入り、なかなか触れる
ことのない浜益の歴史が
面白く理解できました

紙芝居を見ている
ようで楽しかった!



カフェ・クローバー

オープン日は浜益地域包括
支援センター便り「生き生き
通信」でお知らせ。営業日には
立て看板が出ています。

〒 浜益柏木625・1



各地区から集う皆さんや
陣屋研究会の方々と
大入り満員でした。
歓談と笑顔でスタッフも
元気をいただいています

カフェスタッフ
木村智子さん



浜益集落支援員
川村佳広さん



プロフィール ■元浜益中校長。
当時名実ともに陸の孤島、旧
浜益村千代志別で人生ス
タート。浜益に魅了され令和
4年から浜益集落支援員とし
て単身赴任中。地域課題収
集のため、地域の方々や文
化団体、学校との交流を図っ
ています。

「カフェ・クローバー」は令和2年、地域住民の交流を目的にスタート。旧野村商店をお借りして毎月1〜2回開催しています。この日は各地域から午前中27人が来店、春の陽気と絶えぬ会話で笑顔があふれました。

荘内藩陣屋研究会は平成26年発足。幕末期、北方の脅威から蝦夷地を守るため浜益に陣屋を築いた荘内藩の歴史を伝える市民団体です。今回は史実を基にした講談風の語り「陣屋プレイバック」として、語り部奉行「定ノ介」氏が演目池田祐助 蝦夷地総引揚げの「命」を受ける」を披露しました。

公武合体派の密謀が露呈し、藩から追われ自害を図るも囚われの身となった祐助。入牢中にもかかわらずハママシケから藩士・農民総勢780人の総引き揚げの命が下る物語です。緊迫した語り、会場の皆さんは引き込まれるように静まり返っていました。6月には道の駅展示や陣屋ツアー、花川北「ミセン」での歴史講座も予定しています(29ページ参照)。「カフェ・クローバー」にぎわいと、語り部「定ノ介」さんの語り口に魅了された一日でした。

広告

広告